

I 単元指導計画と評価規準(4観点)、学習指導案【科目:家庭基礎】

1 単元・小単元	第2章 子どもの発達と保育 2 子どもの生活を知る
2 小単元の目標	子どもの発達における遊びの意義について理解させ、親の役割やそこで得ることができる親子関係について考えさせるとともに、子どもの生活習慣・食事・健康と安全の重要性について理解し、実際に子どもと触れ合う際に、子どもと適切にかかわることができるようにさせる。
3 育てたい資質・能力	近い将来、多くの生徒が子育てを経験することになると思われるが、具体的に子どもに関する知識や子育てがどのようなものであるかを理解できている生徒の割合は少ない。そこで、子育ての楽しさや大変さを知った上で、男女が共に支え合い、協力して家庭を築いていけるような力を身に付けさせたい。そして、子どもに愛情をもって育てることができる心を育成したい。
4 参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> 『家庭基礎 グローバル&サステナビリティ』教育図書 『生活学Navi 2021』実教出版

5 単元指導計画(4観点)

主な学習内容	ねらい	学習活動	時間	学習活動における具体的評価規準				評価方法等
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
1 子どもの発達を学ぶ ・子どもの心身の発達 ・体の発達 ・こころの発達	○乳幼児の心身の発達の特徴について理解させ、発達段階に応じた保育の必要性に気付かせる。	<ul style="list-style-type: none"> 新生児の保育人形と1歳児(10kgの米袋で作成)を抱き、その大きさや重さを体験する。 乳幼児のDVDを視聴し、心身の発達について理解を深める。 	1	①保育人形を抱き乳幼児に興味関心をもとうとしている。	①乳幼児の心身の発達の特徴が分かり、保育者の関わり方により、乳幼児の発達が促されることに気付くことができる。		①身体の発達には一定の順序と共通性があること、また乳幼児の運動機能や心の発達について特徴を理解している。	MetaMoJiワークシート1 DVD視聴記録 ペーパーテスト MicrosoftForms 自己評価・感想
	○子どもの知能の発達やアタッチメントの確立過程を理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 沐浴、おむつ替え、着替えの正しい方法を理解する。 言葉や知的能力、社会性の発達について理解する。 	1	②幼児期の思考の特徴について関心をもとうとしている。		①親と子の気持ちを考え子育てに興味をもちながら沐浴・おむつ替え・着替えが一人でできる。	②言葉の発達や愛着について理解している。	MetaMoJiワークシート2 行動観察 ペーパーテスト MicrosoftForms 自己評価・感想
2 子どもの生活を知る ・子どもの遊び ・子どもの生活と生活習慣 ・子どもの食事 ・子どもの健康と安全	○遊びや集団保育の重要性を理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達における遊びの意義について理解する。 おもちゃ制作・遊んでいる映像から遊び・おもちゃが子どもの成長にとって大切な役割を果たしていることに気付く。 	1		②おもちゃの良さや改善点について考え、おもちゃが与える子どもへの影響について考えを深め、伝えることができる。	②子どもの心身の発達を考慮したおもちゃ制作ができる。	③遊びが年齢とともに多様で複雑に変化していることを理解している。	MetaMoJiワークシート3 ペーパーテスト MicrosoftForms 自己評価・感想
		<ul style="list-style-type: none"> 遊びの中で心身の発達に大きく影響する様々な児童文化財を知る。 絵本を読み合い、親子関係について理解を深める。 	1		③絵本を読むことで親子の愛情が深まることに気付くことができる。	③本の世界を味わい作者のメッセージを理解しながら絵本を読み合いができる。	MetaMoJiワークシート4 行動観察 ペーパーテスト MicrosoftForms 自己評価・感想	
	○基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の重要性、子どもの健康と安全について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣を身に付けさせるために必要な親の役割を理解する。 子どもの病気と事故の予防について理解する。 	1	③おむつの機能について関心をもとうとしている。	④子どもの気持ちを受け止めながら援助することが大切であると気付くことができる。また、子どもの事故防止について考えを深めている。		④基本的な生活習慣と社会的な生活習慣を理解している。また、病気や事故を防ぐためには未然防止が大切であることを理解している。	MetaMoJiワークシート5 ペーパーテスト MicrosoftForms 自己評価・感想
	○乳幼児の食事について大人とのかかわり方や違いについて理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 乳児の栄養や離乳食、おやつなどの正しい与え方を理解する。 	1	④乳幼児の食生活の形成について具体的に考えようとしている。		④乳幼児の食生活を理解しながら調乳や間食、離乳食作りができる。		MetaMoJiワークシート6 行動観察 ペーパーテスト MicrosoftForms 自己評価・感想
3 子どもと育ち合う ・自分の未来像としての“親”	○子育ての中で子どもとふれあいながら親自身も成長することに気付かせ、子どもを産み育てることの意義や楽しさについて考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 出産・子育て支援について理解する。 子育ては父親と母親が共同で行うものであり、役割があることに気付く。 	1		⑤子育ては妊娠・出産から始まることを理解し、親の保護責任について考えている。		MetaMoJiワークシート7 ペーパーテスト MicrosoftForms 自己評価・感想	

4 社会が子どもを育てる ・子どもを取り巻く環境 ・子育て支援	○現代の子どもを取り巻く環境について気付かせ、子どもの健やかな発達のため社会全体で支援する必要性を理解させる。	・児童虐待について理解を深める。	1		⑥ 少子化の原因と対策について考えている。		⑤ 児童虐待の背景に育児不安があることを理解している。	MetaMoJiワークシート8 ペーパーテスト MicrosoftForms 自己評価・感想
	○子どもの権利条約や児童福祉法の理念を知り、子どもの人権について理解させる。	・子育て支援政策について理解を深める。	1		⑦ 自分の住んでいる町の子育て支援について関心を持ちながら調べ学習をしている。		⑥ 児童福祉の理念を理解している。また地域の子育てへの支え合いと連携の大切さを理解している。	MetaMoJiワークシート9 行動観察 ペーパーテスト
			9					

6 学習指導案

科目名	家庭基礎	クラス	1年	単元名	子どもの発達と保育
本時主題	子どもの遊びについて考えよう（3時間目/9時間）				
指導観	世の中にたくさんのおもちゃがありふれている現在、おもちゃ選びがとて難しくなっている。心身の発達がめまぐるしい乳幼児のこの大切な時期にただおもちゃをたくさん買い与えることが本当に子どものためになっているのかという問題点がある。おもちゃは子どもの成長を支える大きな役割を持ち、この問題点を将来自分自身が親になった時を考え、おもちゃ遊びの役割や心身の発達との関係性について考えさせる。				
本時の目標	①年齢と遊びの変化について理解する。 ②おもちゃ遊びが子どもたちに与える影響について積極的に意見交換をし、考えを深める。				
過程	時間	指導内容	生徒の学習活動	評価について	教師の指導
導入	5分	・本時の目標の確認	・手袋シアター ・本時は子どものおもちゃとの関わりについて学習することを教える。		・事前に子どもの頃遊んでいたおもちゃについて調べてきたことを MetaMoJi を用いて学習ノートに書き込み、グループ間で交流し、本時の目標を確認させる。
展開	40分	・遊びの中で育つ力	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1 年齢と遊びの変化について理解する。</div> ○予想される生徒の反応 ・子どもの発達に伴って多様で複雑な遊びが見られることに気付く。 ・年齢とともに一人遊びから友達同士、そして集団での遊びへと変化することに気付く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2 制作したおもちゃで遊んでいる子どもの映像を見て、気付いたことや考えを MetaMoJi を用いて交流し、発表する。</div> ○予想される生徒の反応 ・おもちゃ遊びの良さやおもちゃの改善点に気付く。 ・子どもは自分自身で遊びを考えている。 ・子どもの発想や創造力を大切にすること。	評価規準【知】 遊びが年齢とともに多様で複雑に変化していることを理解している。 〈評価方法〉 ・ワークシート ・Microsoft Forms による自己評価 ・確認テスト 〈Aの例〉 ・子どもの発達に応じて遊びも変化していることを理解し、自分自身が担当するおもちゃと照らし合わせて考えている。	・MetaMoJi を用いてそれぞれの遊びがどこに分類され、年齢とともに変化していくのかをイラストを動かしながら考えさせる。 ・各段階に応じた遊びを十分に体験することにより少しずつ集団での遊びも楽しめるようになることを理解させる。 〈Bを実現するための指導〉 ・乳幼児の発達の道筋を確認させる。 〈Cへの手だて〉 ・子どもの頃の遊びを思い出しながら年齢が進むにつれ遊びにも変化が出てくることを説明し、理解させる。 ・グループで意見を出し合い、考えをまとめるように指導する。 〈Bを実現するための指導〉 ・おもちゃの安全面や子どもの発達段階について考えさせる。 〈Cへの手だて〉 ・机間指導をし、子どもの様子やおもちゃの特徴について考えさせる。
まとめ	5分	・本時のまとめ	・本時の学習内容を振り返る。 ・Microsoft Forms による自己評価をする。		・本時の振り返りをさせ、次時の確認をする。

□工夫している点

<ul style="list-style-type: none"> ・活発な意見討議を目指し、生徒一人一人の小さな気付きや考えも大切にした。 ・実際におもちゃで遊んでいる子どもたちの映像を見ることで気付きや考えを出しやすくした。 ・タブレットを使用し、グループ間や全体を通しての交流を効率よくした。 ・タブレットを用いることで、データの共有やワークシートの蓄積ができ幅広い学習サポートができた。
--

□実践後の評価結果

	学習における具体的評価規準 (B)	「十分満足できる」と判断される状況 (A)	「努力を要する」と判断される状況 (C)
評価	評価規準【知】 ・遊びが年齢とともに多様で複雑に変化していることを理解している。	・子どもの発達に応じて遊びも変化していることを理解し、自分自身が担当するおもちゃと照らし合わせて考えている。	・イラストを動かすことができない ・ワークシート未記入
生徒の状況	・年齢と遊びの変化についてほとんどの生徒がイラストを動かしながら考えようとしている。	・発達段階に応じて遊びの大切さを理解しようとしている。	・該当者なし
記述例	・年齢に対する遊び方が違うことを理解した。 86%	・視覚や触覚も刺激し、成長に大きく役立つ。 ・相手を理解する能力を育むことができる。 14%	0%

	学習における具体的評価規準 (B)	「十分満足できる」と判断される状況 (A)	「努力を要する」と判断される状況 (C)
評価	評価規準【思】 ・おもちゃの良さや改善点について考え、おもちゃが与える子どもへの影響について考えを深め、伝えることができている。	・具体的な考えを持ち、意見交流をしてまとめることができている。	・ワークシート未記入 ・意見交流をしない
生徒の状況	・おもちゃの良さと改善点についてほとんどの生徒が考えることができ、意見交流をすることができる。	・おもちゃの良い点と改善点を考え、子どもへの影響について積極的に具体例を用いて述べている。	・該当者なし
記述例	・音が出るので子どもが興味をもちやすい。 52%	・ガラガラ類の良い点は、音を出して聴覚を刺激する・手で持ち、振ったり舐めたりすることで視覚や触覚も刺激する。改善点は、誤飲の可能性・踏んで転ぶ可能性など→自分の手を見たり、舐めたりして脳に刺激を送っている。役割を決めて遊ぶことができる。並べる人と打つ人順番を守っていた。 48%	0%

□授業後の課題と改善点

<p>・コロナ禍で交流する場にも制限があり難しかったので生徒が生き生きと積極的に自分の考えを述べることのできる意見交流の場を設定した。生徒は教員側が想定していた解答以上の考えをもち、意見交流をし、発表までもっていった。実際は全体を通して、伝えることのできていない意見や考えもあったため、時間設定をさらによく考えて行う必要があると感じた。また、最後授業内で行う予定であった評価を各自授業後に行うことになり、時間配分を考える必要がある。自己評価の中で、この授業を通してさらに深く学びたいことについて記入することができている生徒が多く、学ぶ意欲がみられた。</p>
